

# 平成14年度 和歌山県文化功労賞

## イーデス ハンソン (Edith Hanson)

住 所：和歌山県西牟婁郡中辺路町

出 身 地：インド(米国籍)

生 年：昭和14年

■現在

社団法人アムネスティ・インターナショナル

日本支部 特別顧問

### ◎業績及び経歴

氏は、1939年(昭和14年)ヒマラヤの麓、インドのマスーリで宣教師であった両親のもとに生まれ、9歳まで育つ。

昭和35年、大学教授であった兄が大阪大学に赴任したのを機に来日。昭和38年頃からテレビ、ラジオに出演し、流暢な関西弁を操る外国人タレントとして活躍。新聞、雑誌等の執筆活動も旺盛で著作も多く、講演会の講師やシンポジウムに幅広いテーマで参加している。

また、氏は人権問題にも関心を寄せ、昭和54年アムネスティ・インターナショナル日本支部会員となり、昭和56年から副支部長、昭和61年から平成11年まで支部長を務め、平成12年の日本支部法人化に伴い、現在は「社団法人アムネスティ・インターナショナル日本」特別顧問として活躍している。

氏の来日後、大阪、東京と都会での生活が続く中、インドで自然に囲まれて育った原体験が忘れられず、昭和62年には南紀熊野地域の自然に魅せられ、西牟婁郡中辺路町に転居。以後現在まで同町を拠点に活動を行っている。

氏の著作には平成9年の「山の落書き」や平成10年の「南西斜面からのたより」など中辺路での生活を題材に、その実体験を綴ったものも多く、豊かな自然環境や田舎暮らし、森林、Iターン等がキーワードとなっている現代社会においてそれを自ら体現し、熊野地域を中心とした和歌山県への愛着と情報を全国に向けて発信し続けており、地域文化振興に対するその功績は多大である。